

【助成について】		
1	助成対象者は、性別の限定や年齢制限はありますか。	性別の限定や年齢制限はありません。
2	過去に助成を受けました。医療用ウィッグ・乳房補正具を再購入しましたが、助成は受けられますか。	助成可能です。再購入の場合でも、1人あたり1年度につき上限2万円に達するまで申請可能です。
3	今年度すでに助成を受けました。助成は1度きりですか。	助成回数に限りはありません。1人あたり1年度につき上限2万円です。上限額に達するまで申請可能です。
4	医療用ウィッグ・乳房補正具を購入する際に送料や手数料がかかりました。助成対象となりますか。	送料や手数料は対象外です。助成対象は、対象品本体にかかる経費（消費税含む）のみです。
5	医療用ウィッグ・乳房補正具の購入個数に制限はありますか。	個数は問いません。複数購入したものをまとめて申請することは可能です。
6	購入日は他市町在住でした。申請できますか。	申請日において、太良町に住所を有するものであれば申請可能です。
7	申請日に太良町在住でした。申請後、他市町に転出しましたが、助成対象ですか。	対象です。申請日の住所で判断します。
8	転入前に他市町で助成を受けました。太良町で申請はできますか。	太良町役場健康増進課までお問い合わせください。
9	生命保険等でウィッグ等の購入に関する給付を受けました。太良町で申請はできますか。	太良町役場健康増進課までお問い合わせください。
【対象について】		
10	10年前にがんの治療を受けましたが、対象になりますか。	必要書類がそろえば、治療を受けた日は問いません。ただし、令和4年4月1日以降に購入した医療用ウィッグ・乳房補正具が助成対象です。
11	定期支払（レンタル）の場合は、助成対象になりますか。	定期支払（レンタル）は、対象外です。
12	頭皮保護ネット、毛付帽子等の補正具の関連用品も助成の対象ですか。	対象外です。助成対象は、補正具本体のみです。
13	医療用ウィッグの付属品及びケア用品とは、どのようなものですか。	補正具を装着する際に直接身につけないものが付属品です。 （例）シャンプー、トリートメント、専用スプレー、専用ブラシなど
14	ウィッグは全頭用に限られますか。	限られません。外見上、ウィッグに見える状態（部分用ウィッグも可）のものであれば対象になります。それ以外の着帽状態の場合（帽子、ターバン、スカーフ等）は対象外です。
15	ウィッグは医療用に限られますか。	限られません。医療用かどうかに関わらず、全頭用もしくは部分ウィッグであれば対象になります。
16	購入したウィッグ等のメンテナンス代金は、助成対象になりますか。	対象外です。
17	手作りウィッグの材料費は、助成の対象になりますか。	対象外です。
18	ストレス等、がん以外の病気で脱毛した場合も対象になりますか。	対象外です。がんの治療の副作用による脱毛に限ります。
19	乳房補正具には、どのようなものが対象になりますか。	手術による乳房の形の変化に対応するための乳房パッド・人工乳房・人工乳頭・乳房補正下着が対象です。
20	がんの疑いがある者は、どのようなケースで補助を受けられますか。	予防的乳がん切除等を想定しています。
21	乳房再建術の費用は助成の対象になりますか。	対象外です。
【提出書類について】		
22	がん又はがんの疑いがあると診断されたことが分かる書類とは、どのようなものですか。	病名および治療方法が明記されている病状説明書や治療方針計画書等です。これらの書類がない場合は、「がん患者補正具購入に関する証明書」を医師に記入してもらってください。 ※証明書は、ホームページからダウンロード可能です。
23	領収書の宛名と口座名義が異なります。申請可能ですか。	申請可能です。ただし、委任状が必要です。ホームページに添付している様式を使用してください。
24	クレジットカードやインターネットで購入して領収書がない場合はどうしたらいいですか。	領収書が必要です。購入店に領収書の発行依頼をしてください。
25	領収書の宛名が漢字ではなくカナ書きになっているが、申請可能ですか。	フルネームで記載してあれば、申請可能です。
26	領収書の様式は決まっていますか。	領収書の様式は問いません。領収書に金額の内訳の記載がない場合や、商品を複数購入している場合等は、購入明細書や納品書など、内訳の内容が分かるものを併せてご提出ください。
27	領収書の宛名が患者本人（助成対象者）ではない場合、申請可能ですか。	申請不可です。領収書の宛名は、必ず助成対象者である必要があります。（太良町がん患者アピアランスケア助成金交付要綱第2条）
【その他】		
28	郵送での申請も可能ですか。	郵送による申請も可能です。郵送料は助成対象外です。
29	頭髪補正具、乳房補正具をどこで買えばいいかわかりません。	病院の医療福祉相談室やがんサロン、国立がん研究センターホームページの「がん情報サービス」でも紹介しています。